

会 議 録

会議の名称	令和3年度第2回 岩舟地域会議
開催日時	令和3年5月26日19時00分 開会 20時44分 閉会
開催場所	岩舟公民館 講義室
出席者氏名	川田とみ子、川原井正敏、熊倉正志、小暮實、越沼和子、小林仁美、斉藤栄吉、相良栄、瀬下敏明、高久厚子、寺澤保之、永島仁一、永田昌弘、広瀬昌子、深津智子 以上15名
欠席者氏名	田中正太郎
事務局職員職氏名	岩舟地域づくり推進課 副主幹 中田与志人 主査 打木洋子 主任 尾林俊保
その他出席者等	なし
会議事項	(1) 令和4年度実施分地域予算提案事業について (2) 令和5年度実施分地域予算提案事業について (3) その他
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	0名
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
●会長	1. 開会 2. あいさつ 3. 議事 (1) 令和4年度実施分地域予算提案事業について 地域予算提案事業候補案として、交通事故防止対策事業（スケアードストレイト方式の交通安全教室）と赤羽根遺跡案内看板リニューアル事業の2つの事業がある。 令和4年度に実施するかどうかを検討していただきたい。
●A委員	赤羽根遺跡はどこにあるのか。 (他に同意見あり)
◆事務局	委員全員で行く時間はないため、後日、場所が分かる地図を送付する。
●C委員	何世紀ごろどういうものだとか、出土品はどこに保存されている等看板の文言について精査していただければ、看板リニューアル事業については賛成である。

●E 委員	旧岩舟町の時に作成した史跡案内というパンフレットが発行され、赤羽根遺跡も掲載されている。スケアードストレイト方式の交通安全教室に関しては、見たことがないと判断が難しい。
●B 委員	スケアードストレイト方式の交通安全教室は、スタントマンが事故の事例を実演し、非常に中学生のためになる。赤羽根遺跡は卑弥呼時代の遺跡で、当時の栃木県としては最大級の遺跡で、出土品はほとんど県の博物館にある。
●会長	来月の地域会議で再協議とする。
◆事務局	《令和5年度実施分地域予算提案事業について事務局から説明》
●会長	令和5年度実施分地域予算提案事業について、部会に分かれて地域課題を抽出し、また、まちづくり実働組織との話し合いを交えてのより地域課題を掘り下げるといいうスケジュールに関して、ご意見ご質問等はあるか。
●B 委員	委員が地域課題をそれぞれ考え、次回、部会で検討することでどうか。
●D 委員	初めて委員になった方は、何を考えていくべきかわからないと思う。せっかく集まった有識者や皆さんの中で、岩舟地域を調べ、勉強するのもひとつかなと思う。
●E 委員	まちづくり実働組織と綿密に連携を図りながらやっていかなければならない。委員が問題を提言するのではなく、各小学校区の実働組織が納得する動きをしなければならぬ。
●会長	公園整備を地域予算で行って、毎年、その維持管理費を地域予算として提案している地域もある。2年前にまちづくり実働組織と地域課題の抽出をしたら各地区に偏りがでてしまった。地域予算提案事業では市の制約やその後の維持管理などの予備知識も必要である。そういうことから、前期から引き続き委員の方々がリーダーになり、部会で地域予算について勉強しながら話を進めていくのはいかがか。
●A 委員	地域予算は何かと考えると、行政に頼んだ場合、いつできるかわからない事業を地域会議で提出すれば実施されやすいということも1つであるが、トイレ改修などモノづくりが地域会議の事業の意味かと思ってしまう。市民との連絡調整が地域づくりの大きな役割である。

●E 委員	地域を一番知るまちづくり実働組織の代表の方を入れるという話はどうなのか。団体の代表だけでは地域全般を見るのは難しいので、活発に動いているまちづくり実働組織の人達も入れて地域課題の抽出を行うのはどうか。
◆事務局	事務局では、6月、7月でまず部会で話し合い、8月にまちづくり実働組織を交えて部会で話し合い、その結果を受け、9月に話し合いができればと考えている。
●F 委員	話が全くわからないが、実働組織とはどんな団体か。
◆事務局	旧小学校区ごとにまちづくり実働組織がある。地域の課題を自分たちで見つけ、自分たちで解決する事業を行っていくというのがまちづくり実働組織である。活動内容について小野寺ふれあい会以外は広報を出しているのを見ていただきたい。まちづくり実働組織を地域会議に呼ぶ際は相手の都合もあるので、事務局で調整する。
●E 委員	今の話だと、新任の方はまちづくり実働組織というよりも全体的に地域自治制度を理解できていないと思われる。部会に分かれる前に地域会議について再度説明を受けて、7月から部会で検討するというのはどうか。
●G 委員	各まちづくり実働組織は旧小学校区のことを中心に活動していて、この地域会議は岩舟全体を見ているため、視点が違う。6月に来てくれと言っても団体の都合があるので、8月くらいに呼ぶのがよいのではないか。
●A 委員	私は全体で委員一人一人の意見を聞きたい。
●H 委員	まずは部会に分かれて話し合いをしたほうがよい。私は大勢の前で発言するにはまだ理解できていないことが多い。部会で話し合っただけを公表していくというのでいいのではないかと思う。
●I 委員	部会で話し合うのも全体で話し合うのもいいところがある。全体で行ったあと、部会でまた掘り下げていくという形だと新任の方にはわかりやすくなる。
●J 委員	よくわからないため、少人数の部会でなら色々質問できる。
●K 委員	勉強するなら少人数で、質問もできたらいい。全員の意見一人一人聞いていたら時間が足りない。

<p>●C 委員</p>	<p>地域会議の役割は、市政に意見を述べるができることと、地域の課題を解決するための地域予算提案制度がある。もう一つの地域づくりの組織としてまちづくり実働組織があるが、大方の人は理解していない。まちづくり実働組織とは何かをまず説明、理解してから部会を行うのが正しい。そのためには、まちづくりそのものから話をする必要がある。まちづくりとは、住みよい地域づくり、地域の活性化ということである。具体的にどういう風にするのかということも含めて、私の地域でまとめたものがあるので提供する。まずは委員が地域会議について、まちづくり実働組織について共通認識を持つことが大切である。</p> <p>また、岩舟地域には遺跡が多くある。三谷ののぼり窯で国庁の瓦も見つかっているが、全然知られていない。岩舟地域の遺跡を遺跡群といった形で考えていくのも地域会議の役割だと思う。</p>
<p>●会長</p>	<p>次回は事務局で地域自治制度について再度説明をしていただき、その後、まちづくり実働組織を含めて話し合うかどうか検討する。</p>
<p>◆事務局</p>	<p>(3) その他</p> <p>≪情報提供（立地適正化計画の策定）について説明≫</p> <p>≪地域予算提案制度で実施したPR動画について説明、鑑賞≫</p>
<p>●会長</p>	<p>以上で議事を終了する。</p> <p>4 連絡事項</p> <p>5 閉会</p>